

学校における教職員の働き方改革について

福島町教育委員会では、平成30年3月27日に「学校における働き方アクション・プラン」を策定し、教職員の時間外勤務等の縮減に向け、できることから直ちに取り組みこととしました。

学校現場の業務改善を図り、教職員が健康でやりがいを持って働く環境を整え、児童生徒と向き合う時間の確保に努めてまいりますので、働き方アクション・プランについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

※詳細につきましては、福島町のホームページへ掲載しております。

■URL

<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/kyouiku/gakkou/>

■お問い合わせ先

教育委員会事務局学校教育係

☎ 47-3675

◇学校が実施する主な項目◇

①月に1日以上は、土日又は祝日の部活動休養日の設定

※大会やコンクールへの参加等に係る活動については別とします。

②テスト期間前や職員会議日の部活動の休止

③月2回以上の定時退勤日の設定

④原則午後8時までに全教職員が退庁するよう徹底

⑤夏休み冬休み中に、3日以上連続した学校閉庁日を設定

地域おこし協力隊のふくしま散歩!



地域おこし協力隊
杉原 健伸

小学生から中学生までの9年間、福島町で相撲をしていたのでご存知の方も多いいと思います。私自身、中学卒業以来の帰郷となりますので簡単に自己紹介させていただきます。

私は、9年間福島町で相撲を学び、もっと高いレベルで相撲を学ぶために、札幌市内の北海学園札幌高校へ入学しました。卒業後は、指導者の道を目指すためにトレーニング、テーピング、心理学などスポーツ学を専攻とした専門学校で3年間勉強しました。専門学校で培った知識を活かし、障がい者施設で職業指導を2年、高齢者へのリハビリを含めた運動指導を2年経験してきました。個人として

この度、地域おこし協力隊として教育委員会事務局（生涯学習係）へ配属となりました、杉原 健伸（すぎはらけんしん）です。

も、全道各地の相撲をしていく子供たちへの稽古の指導や、相撲大会の手伝いにも携わってきました。

多くの子供たちを指導していく中で、「地元に戻って子供たちに相撲の指導をしたい」「福島町の相撲をもっと強くしたい」という思いが強くなり始めた時に、地域おこし協力隊の募集を知り、今回の採用を機に10年ぶりに帰郷することになりました。

10年経つと町の変化に気付くことも多いですが、早く今の環境に慣れ、今までの経験を活かし、相撲の指導や相撲教室の企画などに精一杯努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。